

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 道路建設課				内線等	2273
事務事業名	電柱等移設事業					事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等						A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	道路の新設及び改良に支障となる電柱等を、
手 段	移設及び布設替えすることによって、
想定する成果	まちなみ景観等に配慮、車道幅員を確保し、道路整備事業の進捗を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
電柱移設補償	3件	1,245千円	2件	1,235千円	5件	2,500千円
排水管布設替等	-	-	1件	1,445千円	1件	2,600千円

成果指標

成果指標名	電柱等移設件数	排水管等布設替件数
成果指標の説明	電柱等が移設された件数	排水管等が布設替された件数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		3件				2件				5件			
成果指標		-				1件				1件			
事業費	事業費	1,245				2,680				5,100			
	人件費	1,557				1,562				785			
	(人数)	正規	0.2	非常勤		正規	0.2	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	2,802				4,242				5,885			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,802				4,242				5,885			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	2	3	道路事業に支障となる電柱等の移設をすることができた。
経済効率性	3	3	3	3	投入された予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	原因者である事業施行者(市)が行うべき事業である。
小計	11	12	11	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	道路の新設及び改良に支障となる電柱等の移設は、快適でやすらぎのあるまちづくりの達成に効果がある。
合計	14	12	14	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	道路の新設及び改良にあわせ電柱等の移設を行い、道路事業の進捗を図ることができた。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
なし。
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

市民の利便性の向上と交通の安全を図るため、今後は、土地所有者の理解を得て、電柱等の移設先を民地に移設する。

平成21年度予算に反映する項目

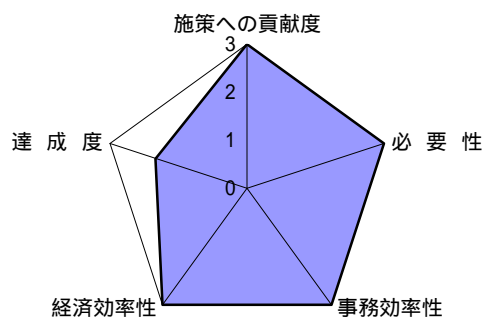
電柱等移設事業費(委託料)

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点